

参考資料

「知識構成型ジグソー法」による授業のみかた

CoREF

Point 1

「知識構成型ジグソー法」の授業で実現したいのは、一人ひとりが自分で考え、対話を通じて自分の考えを見直し、深めていく学び（＝協調学習）です。

こうした学びの過程では、必ずしも全員が同じように活発に発言するとは限りません。人の話を聞きながら考えたり、悩みこんだり、ぼつぼつとつぶやきながら考えたりする姿もあってよいはずですが。各人がそれぞれそれなりの仕方学習に参加し、人の考えと自分の考えを比較、統合しながら自分の考えを変えていく様子を追ってください。

【このため、生徒が活動している途中で声をかけることは控えてください。】

Point 2

一人ひとりが自分で考え、対話を通じて自分の考えを見直し、深めていく学びの過程を見とるためには、個々の生徒に注目し、その子が今何をどう考えているのか、つまづいているとするとどんなところでつまづいているのかを丁寧に見ていくことが重要です。生徒の具体的な発言や記述に着目しながら授業をご覧いただけると幸いです。

Point 3

一人ひとりが自分で考え、対話を通じて自分の考えを見直し、深めていく学びの過程を見とるためには、私たち観察者側も今日の授業の内容やそこで起こりそうな思考や対話がどんなものかについて、自分なりに理解したり予想したりしたうえで生徒の様子を観察できるとよいでしょう。事前に教材を見ながら一度問題を解いてみたうえで授業案をご覧いただくと、よい観察の準備になるかと思えます。

【留意点】

○ 生徒は、必ずしもエキスパートの内容を理解し切れていなくても大丈夫です。ジグソー班で他のエキスパート資料とつきあわせてはじめて分かったり、資料を見せ合ったりして、ここがわからないとみんなで考え合うことから学べるものはたくさんあります。むしろ、そういう過程が起きることが大事です。

○ エキスパート班で、ずっと黙っていた生徒は、全く何も学んでいなかったとは限りません。むしろ一生懸命考えていたということの方が多いためです。ジグソー班の方が話し易いものなので、ジグソー班になったとたん堰を切ったように発言がある生徒は少なくありません。ずっと黙っていて、授業の最後の最後に重大発言をする生徒もいることがあります。そういう一人ひとりの変化が見えてくると、授業から学べることも多くなると思っています。